

青高の一学期は達成感を得たか！

一学期が終わります。新任校長にとって、長い1ヶ月(4月)とあっという間の2ヵ月半(5月以降)だったような思いがあります。17年ぶりの学校現場に戸惑いながらの一学期間でしたが、徐々に青高の状況が見えてきました。

青高生は、何事にも一所懸命取り組んでいます。きっといろいろなことに興味を持っているのでしょう。複数の部活動に加入している生徒も少なくありません。学校行事のために寸暇を惜しみ、時に学習時間を切り裂いて取り組んでいました。「中間考査以降、とても忙しい状況で、しっかり腰を落ち着かせて学習できる環境が整えられなかった」と嘆く先生方がいました。

「メリハリを付けなさい」と先生方が指導していますが、どうでしょうか。ともすると雰囲気流されてしまい、学習への姿勢がおろそかになってはいませんか。「自分は精一杯やって満足感一杯だ！」と明確に言える人はどれほどいるのでしょうか。

今、青高を巡る環境は大きく変化しています。すでに報道等があったので知っていることと思いますが、「進学指導重点校」の選定基準が制定され、次の25年度の指定からその基準に基づいて指定されることになりました。その基準①センター試験の5教科7科目型受験者の在籍者に占める割合、②難関国公立大合格可能な得点水準以上の受験者に占める割合、③難関国公立大等の現役合格者数を踏まえて決定することになります。

これまでも青高の卒業生はそれぞれ努力を重ねて、進学実績をあげてきました。しかし、教育委員会は青高が「まだ生徒の力を十分に伸ばしきっていない」との評価でした。

確かに模擬試験の結果などを見ると、2年生になると極端に成績が下降している実態があります。2年生は部活動や学校生活の中心的存在になり、ややもすると、そちらの方に重心を置きがちになります。私は部活動も学校行事も大切だと考えています。一律に制限を加えるつもりはありませんが、「高校生の本分は学習だ」ということを、皆さん一人一人しっかり意識してほしいと思っています。

私は、青高を引き続き進学指導重点校として指定されることを学校経営の柱にしていきたいと思います。皆さんには、学校生活にメリハリを付け、学習に、部活動に、そして学校行事に全力で取り組みつつ、「高きを望め 青山で」のとおり、進学実績でも成果をあげていくことを期待しています。

水泳部、佐藤君(1-4)関東大会出場！

高校総体(8/17~20)出場の期待も！

1年4組の佐藤勝哉君は、6月に行われた都大会で100Mと200M自由形で上位入賞し、7月24日から横浜市内で開催される関東大会に出場することになりました。関東大会で標準記録を切ると、8月17日から沖縄で開催される高校総体にも出場できます。すでに標準記録を破っているため「期待できます」と顧問の佐藤雄一先生は語っています。



なお、佐藤君は東京都の国体強化選手にも選ばれました。大いに頑張って青高の名を全国に轟かせてほしいですね。

学校生活に潤いを！3年有志が花壇作り

6月下旬に環境整備を担当している小林勝さんから「校長先生、保健室前の花壇を整備したところ、生徒さんがその花壇に花の種を蒔いていたと養護の高橋先生から聞きました」という話を伺いました。学校生活に潤いがほしいと言って自主的に蒔いたそうです。

早速、様子を見に行ったところ3年6組の柳優也君と早川史人君の二人が水やりをしていました。「校長先生、園芸同好会を作ってください」と直談判。「生徒が自発的に行うことに価値があると思うよ」と回答しましたが、花を愛で、自発的に花を植え成長を見守る心優しい生徒がいることは大変嬉しいことです。学校内に花が溢れ、生徒も教職員も気持ちよく生活が送れるように工夫していきたいと思っています。

第二の柳君、早川君がきっと現れるでしょう。秋になって、保健室前と昇降口横の花壇にどんな花が咲くのか楽しみです。



生徒昇降口横の花壇
にはかわいい芽が！
(7月6日撮影)